

(一財)全日本交通安全協会 推薦

DVD
VIDEO

アルコールについての 正しい知識を!

本当にわかっていますか?

飲酒運転の危険性



飲酒運転による交通事故件数(全国)
1997年(平成7年)～2019年(令和元年)

平成 27年 (2015)	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)
3,864	3,757	3,582	3,355	3,047



酒気帯び運転

血液1mlにつき0.3mg または 呼気1lにつき0.15mg
以上のアルコールを保有して運転

お酒の種類	アルコール量	ドリンク量
ワイン(ボガラス)1杯	10g	1ドリンク
缶ビール(500ml)1本	20g	2ドリンク
日本酒 1合	20g	2ドリンク
焼酎(25度 100ml)1杯	20g	2ドリンク
ウイスキーダブル(60ml)1杯	20g	2ドリンク

23分/DVD(字幕選択式) 70,000円(本体価格)+税

企画・製作・発売元 株式会社 教配



株式会社 教配
URL: <http://www.kyohai.co.jp>

〒102-0083 東京都千代田区麹町5丁目1番 NK真和ビル9階
TEL 03-6272-3089 (代) FAX 03-6272-3447

アルコールについての正しい知識を!

～本当にわかっていますか? 飲酒運転の危険性～

一瞬にして重大事故を引き起こし、多くの人の人生を変えてしまう飲酒運転。近年、飲酒による交通事故は減少傾向にあるとはいえ、いまだ根絶には至っていません。なぜ、飲酒運転をしてしまうのでしょうか。

飲酒運転を防止するには、まずアルコールについて正しく知る必要があります。この作品では、「自分は大丈夫」と思い込みがちなケースを取り上げ、専門家の解説を交えながらアルコールが及ぼす影響について説明します。



ケース1 「ちょっとくらいなら…」



契約成立のお祝いに乾杯した鈴木課長と佐藤さん。時間も遅かったので、ビール1杯だけにしてお開き。1杯しか飲んでいないし、「大丈夫だろう」と、二人は車で帰ることに。そして悲劇が…。

- お酒を飲んで酔うこと=脳の機能が低下すること
- アルコールはかなり少ない量から運転に影響を及ぼす
- コップ1杯のビールを飲んだ後に運転し、事故を起こした事例も実際にある

ケース2 「タベの酒は…」



山田さんの楽しみは自宅での晩酌。この日は缶ビール500ml 2本と焼酎ロック2杯を飲んで、23時過ぎに就寝。翌朝はいつものように車で通勤。もしかすると飲酒運転の可能性が…。

- アルコールの分解時間は飲んだ量に比例する
- 飲酒量を数える「ドリンク」という単位があり、1ドリンクを分解するのに約2時間半かかる
- 翌日の状況に応じて、飲酒量を判断することが大切

専門家による解説



依存症などのアルコール医療や飲酒運転予防に関する研究・研修を行う久里浜医療センターの院長 樋口進先生による医学的観点からみた解説。



アルコールについての正しい知識の普及、飲酒習慣の改善など飲酒運転防止のための啓発活動を行う山村陽一氏による事例を交えた解説。

飲酒運転の罰則

これまで数度にわたり強化された飲酒運転に対する罰則を説明します。

- 「酒気帯び運転」「酒酔い運転」の罰則
- 自動車運転死傷処罰法に定められる「危険運転致死傷罪」の罰則

協力：国立病院機構 久里浜医療センター 特定非営利活動法人ASK もて茄子や 新宿御苑前

企画・製作・発売元 株式会社 教 配

2020年作品

●お申し込み・お問い合わせ

一般財団法人 全日本交通安全協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 自動車会館7F

TEL: 050-3531-0571 FAX: 03-3264-2645

各都道府県交通安全協会